

島田市の介護保険事業

～地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析～

【令和3年3月】

《はじめに》

地域包括ケア「見える化」システムとは、県や市町における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムで、介護保険に関する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化されています。

「見える化」システムでは、地域間の比較がしやすいよう、認定率、給付費の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢別構成」「地域区分別単価」について、その影響を除外した調整済み数値を確認することが出来ます。

ここでは、「見える化」システムを活用し、調整済みの認定率、各種サービスの一人あたりの給付月額等の状況等について、島田市と全国・県・近隣市とを比較して、島田市の特徴、要因等の分析を行います。

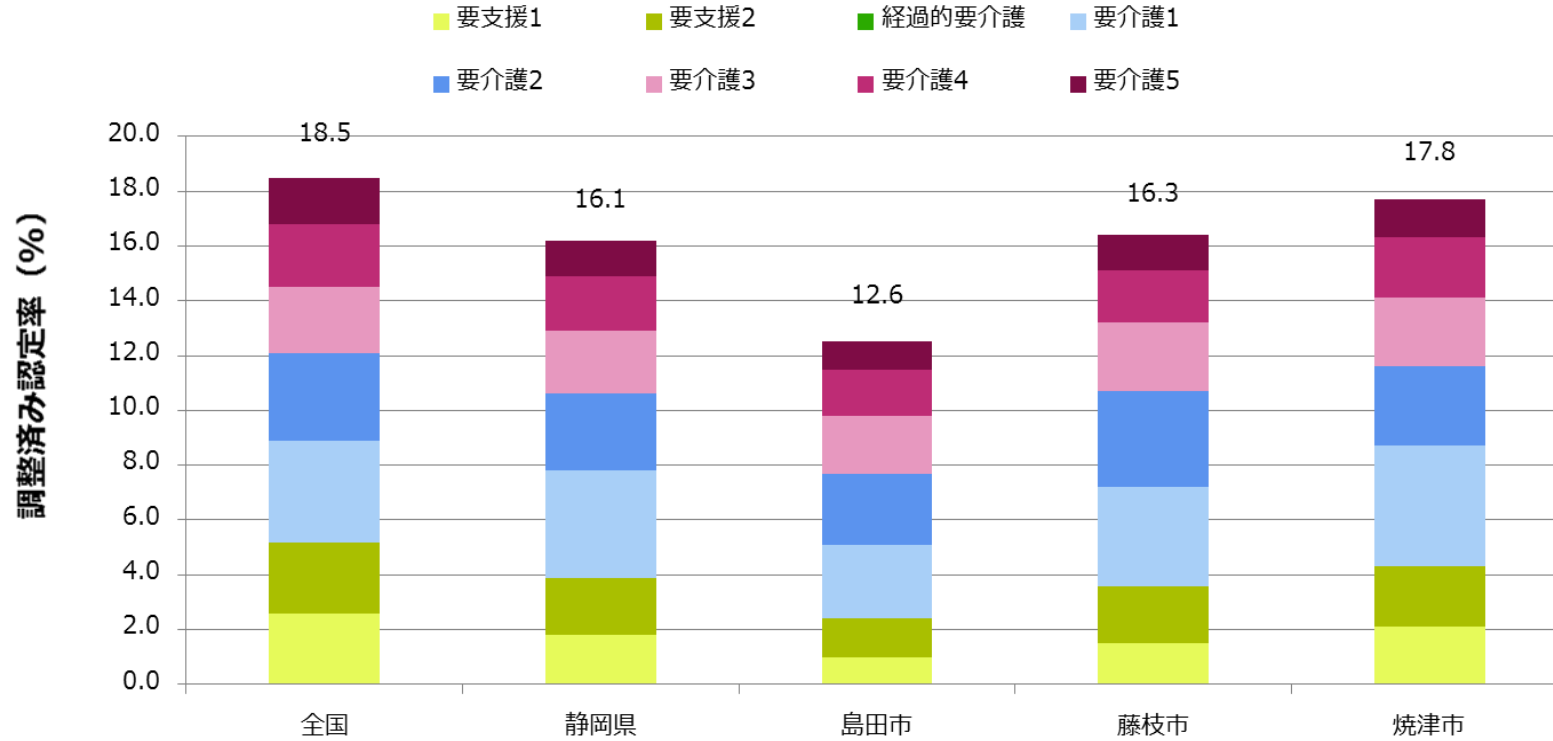
(ただし、一人あたりの給付月額の状況については、平成30年度が最新データとなっています。)

《目次》

- 1 要介護・要支援認定の状況（調整済みデータ）
 - (1) 全国、県、近隣市との比較（令和元年度）・・・P2
 - (2) 経年変化（平成25年度～令和元年度）・・・ P3
- 2 一人あたりの給付月額等の状況（調整済みデータ）
 - (1) 在宅サービス（平成30年度）・・・・・・・・・・P4
 - (2) 居住系サービス（平成30年度）・・・・・・・・・・P5
 - (3) 施設サービス（平成30年度）・・・・・・・・・・P6
 - (4) 在宅サービスと施設及び居住系サービスのバランス（平成30年度）・・・・・・・・・・P7
- 3 第1号被保険者介護保険料の推移・・・・・・・・・・P8
(第5期～第7期・平成25年度～令和2年度)

1 要介護・要支援認定の状況 (1)全国、静岡県、近隣市との比較(令和元年度)

調整済み認定率（要介護度別）（令和元年(2019年)）



(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

島田市の特徴

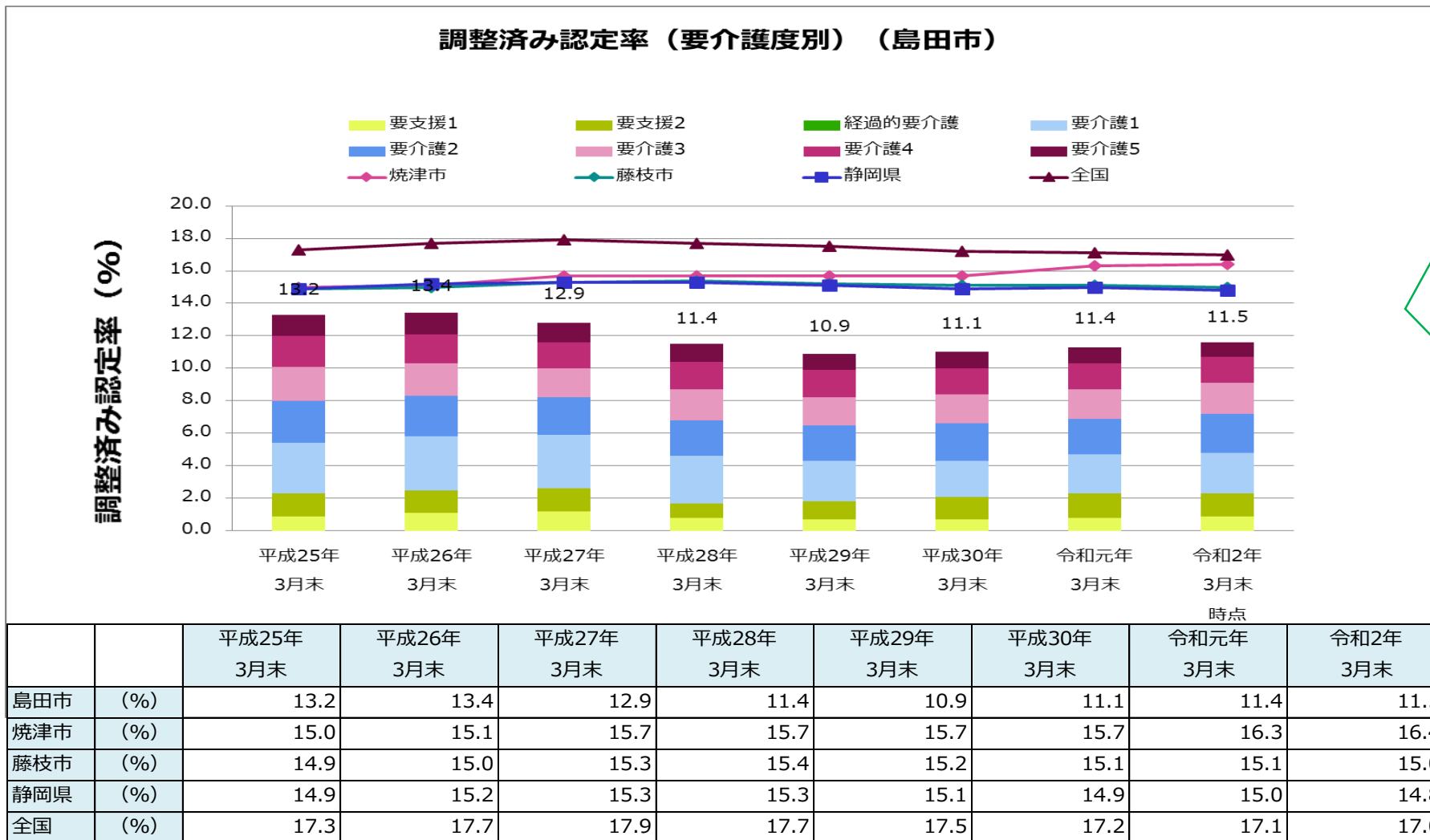
島田市の要介護認定率は、他市と比較しても、極めて低い値となっています。

要因として考えられること

島田市は、全国に先駆けて平成27年4月に総合事業を開始し、要支援相当の方が認定を受けずに予防相当の訪問介護、通所介護が利用できるようになりました。

また、介護予防体操しまトレが市内各地で行われるなど、地域主体で介護予防事業に取り組んでいることも認定率の低下に影響しているものと考えられます。

1 要介護・要支援認定の状況 (2) 経年変化(平成25年度～令和元年度)



島田市の特徴

島田市の認定率は、平成26年度までは、県平均値と比較し、約2ポイント低い値でした。

平成27年度から開始した総合事業開始の影響により、島田市の認定率は大幅に低下しましたが、29年度以降は徐々に上昇に転じています。

要因として考えられること

平成29年度からの上昇は、総合事業の見直しによるものと考えられます。

適切なケアマネジメントにより、介護申請が必要と思われる事業対象者が新たに申請するようになりました。

今後も高齢者の増加とともに、介護を必要とする被保険者の増加傾向が続くことが推測されます。

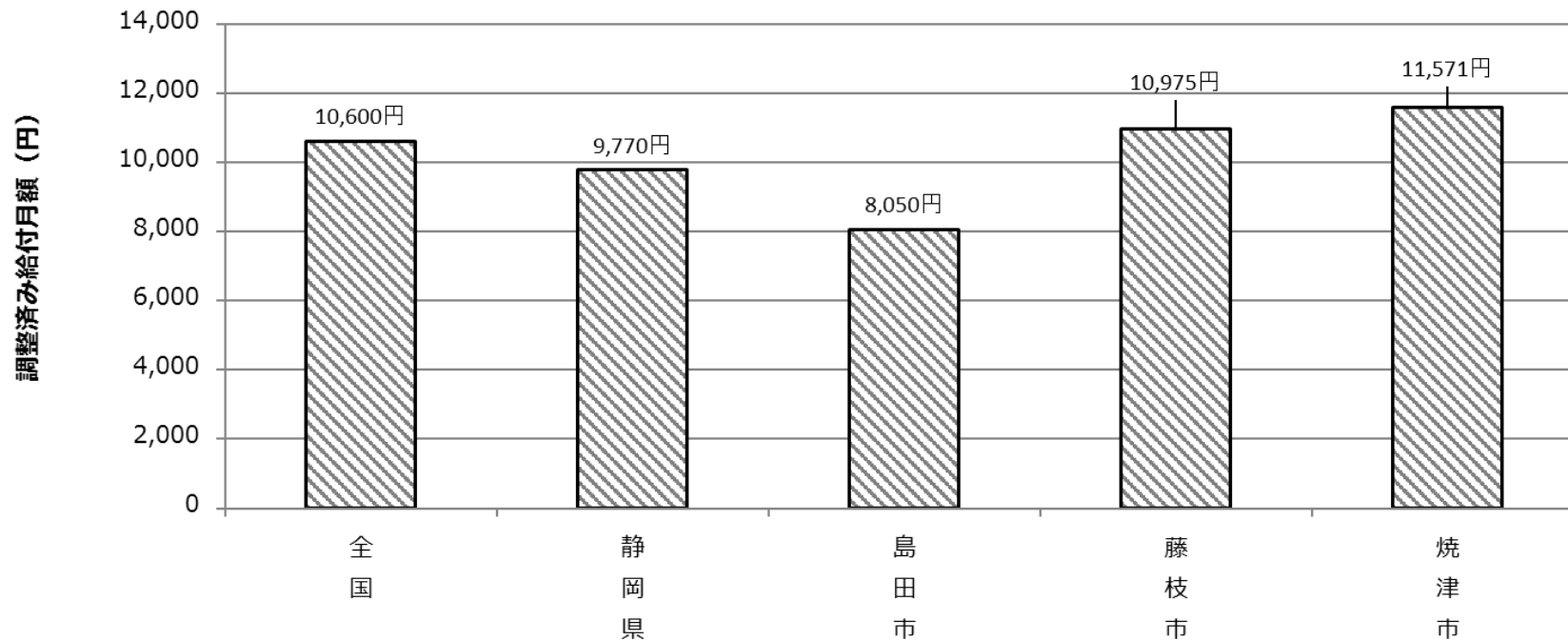
(注目する地域) 島田市

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

2 一人あたりの給付月額状況 (1) 在宅サービス(平成30年度)

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額 (在宅サービス)
(平成30年(2018年))

□ 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額 (在宅サービス)



在宅サービスとは

自宅を訪問してもらったり、施設に通って利用するサービスです。

島田市の特徴

島田市の在宅サービスに係る介護保険の給付月額は他団体に比べて低いものとなっています。

要因として考えられること

認定率が低く、サービスを利用する方の割合も低いことから、被保険者一人あたりの給付月額は少額となっていると考えられます。

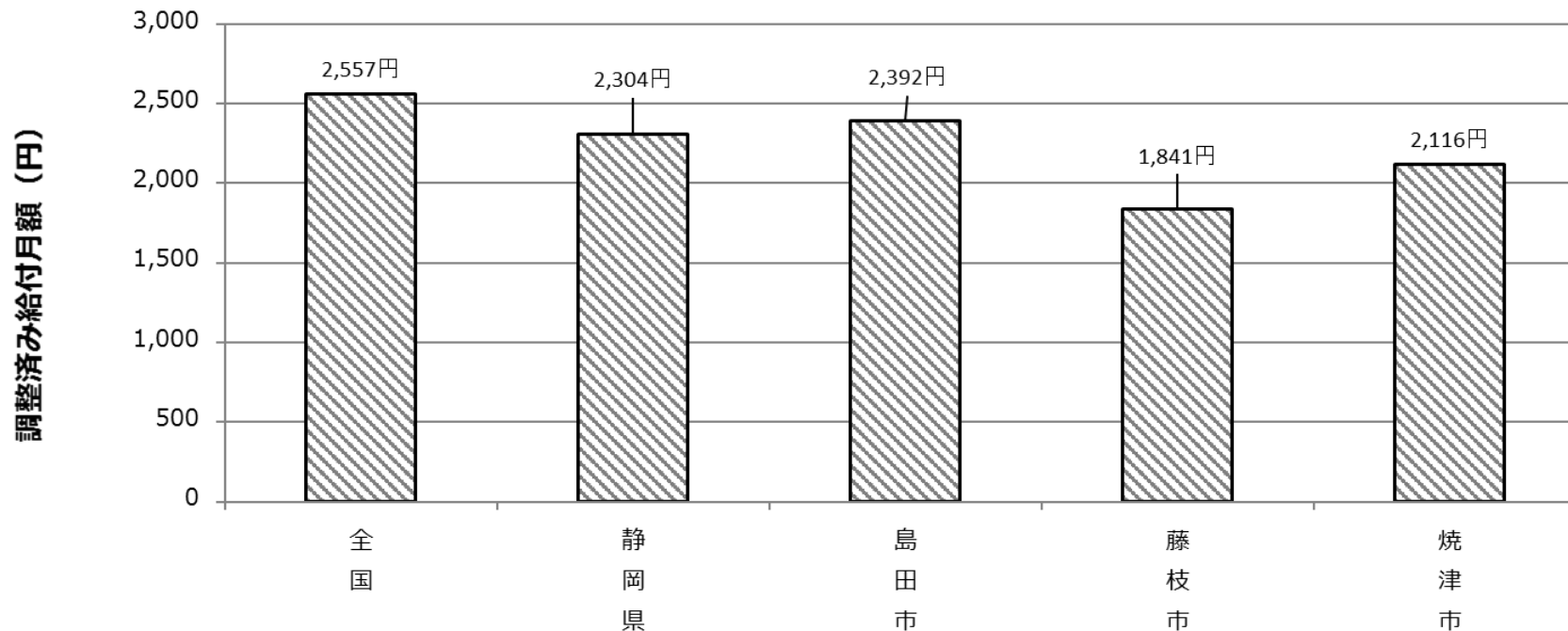
(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

2 一人あたりの給付月額状況 (2) 居住系サービス(平成30年度)

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額(居住系サービス)
(平成30年(2018年))

□ 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額(居住系サービス)



(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

居住系サービスとは

認知症高齢者グループホーム、特定施設入居者生活介護施設(介護付き有料老人ホーム、軽費老人ホーム)などを利用した場合のサービスです。

島田市の特徴

県平均に近い金額となっていますが、他団体に比べ高額となっています。

また、島田市の在宅サービス、施設サービスに比べ少額となっています。

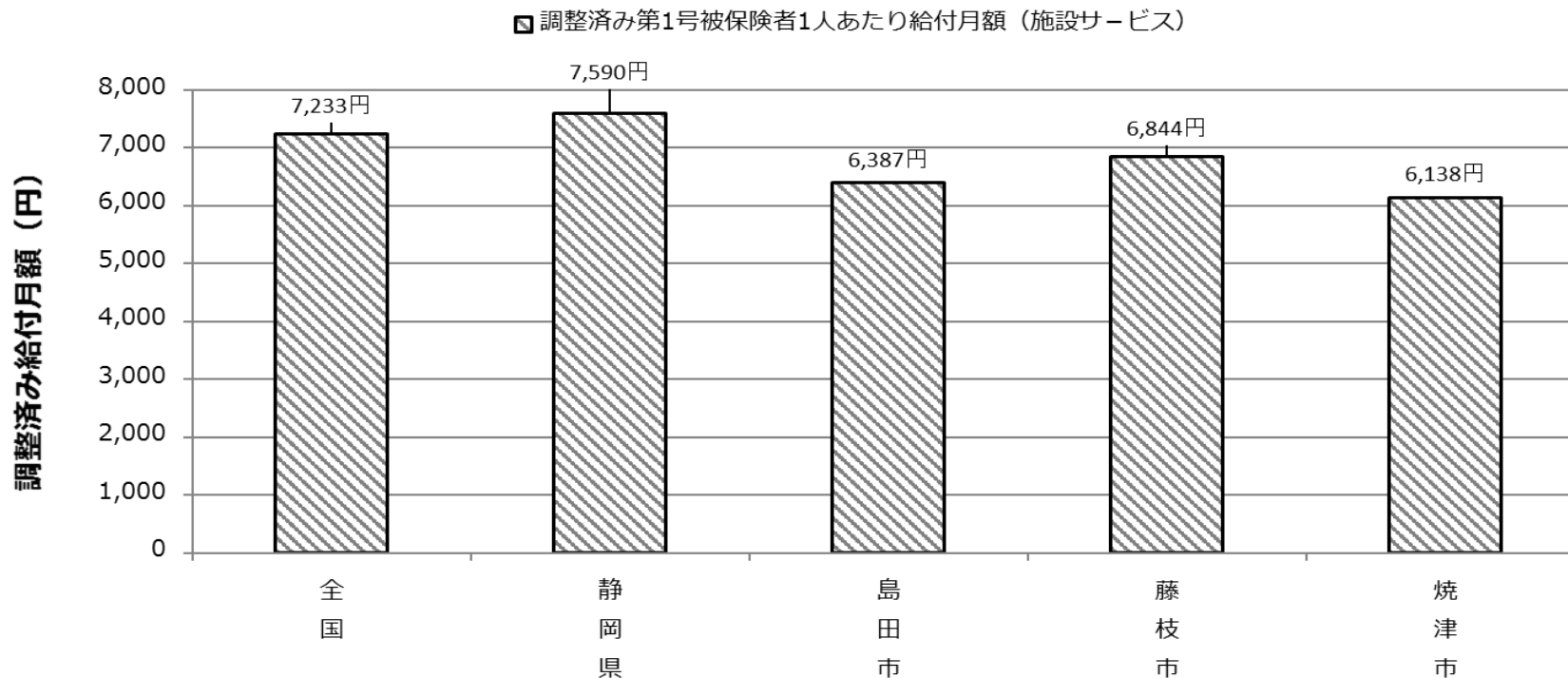
要因として考えられること

他団体に比べて居住系サービスの提供体制が充実していることによるものと考えます。

在宅・施設サービスに比べ少額なのは利用者が少ないことが要因として考えられます。

2 一人あたりの給付月額状況 (3)施設サービス(平成30年度)

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（施設サービス）
（平成30年(2018年)）



(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」 および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

施設サービスとは

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院を利用した場合のサービスです。

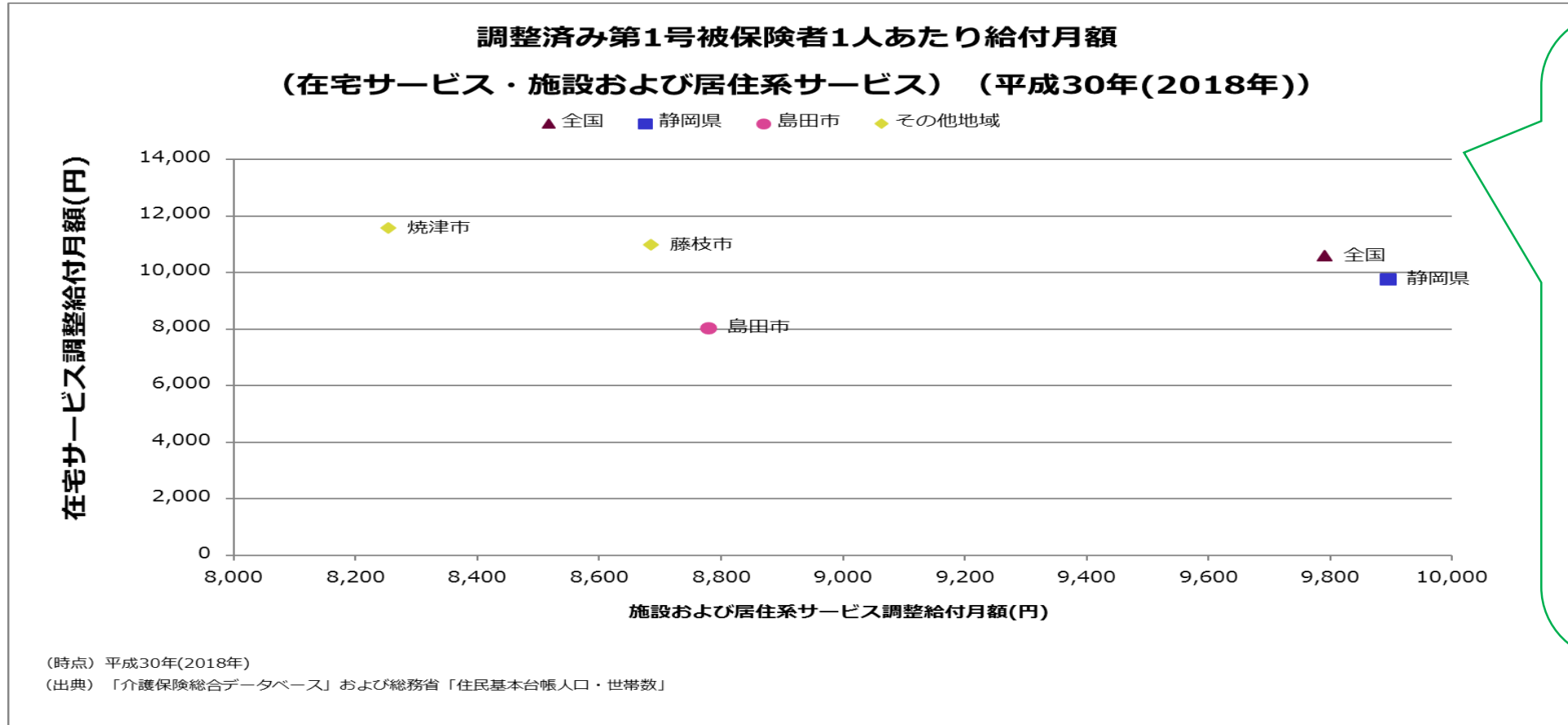
島田市の特徴

全国、県平均と比べると低い金額となっていますが、近隣市と比べ大きな差は生じていません。

要因として考えられること

認定率が低く利用者が少ないこと、また、居住系サービスの利用者が多いことが要因として考えられます。

2 一人あたりの給付月額状況 (4) 在宅サービスと施設・居住系サービスのバランス



島田市の特徴

在宅サービス、施設・居住系サービスともに、全国平均、静岡県平均よりも低い金額となっています。特に、在宅サービスについては他団体と比べて大幅に低い金額となっています。

要因として考えられること

認定率が低く、利用者も少なくなるため、被保険者一人あたりの給付月額は少額となると考えられます。

		全国	静岡県	島田市	藤枝市	焼津市
調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額 (在宅サービス)	(円)	10,600	9,770	8,050	10,975	11,571
調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額 (施設および居住系サービス)	(円)	9,790	9,894	8,779	8,685	8,253

(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

第1号被保険者介護保険料の推移(第5期～第7期・平成24年度～令和2年度)

	全国平均	静岡県平均	島田市	藤枝市	焼津市
第5期(H24～H26)	4,972円	4,714円	4,000円	4,690円	4,505円
第6期(H27～H29) (増加率)	5,514円 (10.9%)	5,129円 (8.8%)	4,550円 (13.8%)	4,980円 (6.2%)	4,970円 (10.3%)
第7期(H30～R2) (増加率)	5,869円 (6.4%)	5,406円 (5.4%)	5,100円 (12.1%)	5,250円 (5.4%)	5,240円 (5.4%)

島田市の特徴

島田市の第1号被保険者(65歳以上の方)の介護保険料は、他団体に比べて少額となっています。

ただし、期ごとの増加率は他団体に比べ高くなっています。

要因として考えられること

介護保険料が少額なのは、要介護認定率が低く、被保険者数に対する給付費の見込みが少ないことが要因と考えられます。増加率が高いのは、総合事業を含め、介護サービスが充実してきていることが要因として考えられます。